

## 平成30年度 第2回市民協働推進委員会 議事録

- 1 日時 平成30年9月20日(木) 午後6時00分から午後7時45分
- 2 場所 豊川市役所 本34会議室
- 3 出席者 会長 神谷 典江・・・(特非) 穂の国まちづくりネットワーク  
委員 荒木 夏希・・・(特非) どんぐりの会  
委員 乙部 法行・・・元豊川市連区長会副会長  
委員 小栗 慎平・・・豊川高校インターアクトクラブ顧問  
委員 塩野 友麻・・・一般公募市民  
委員 山口恵梨花・・・一般公募市民  
委員 稲垣 誠・・・ひまわり農業協同組合  
委員 竹尾祐三子・・・豊川市社会福祉協議会地域福祉課長補佐  
副会長 鈴木 敏彰・・・豊川市市民部長
- 4 事務局 市民部次長、市民協働国際課長、課長補佐、市民協働係長 係員
- 5 傍聴者 0名
- 6 議事概要

### (1) 「とよかわ市民協働推進計画」の評価方法について

#### 【事務局】

平成30年3月に策定した「とよかわ市民協働推進計画」における事業の実効性を高めるため施策の進捗状況を委員会に報告し委員のみなさまの意見を求め、計画の適切な管理を行うことを目的に実施する。前回の委員会では評価方法の検討をさせていただき、委員のみなさまから「基本方針における実施計画の評価方法は事業毎で、評価数が多くて負担が大きい」「評価方法が複雑でわかりにくい」「5段階で評価することは特に抵抗はない」「それぞれの事業の進捗状況は委員会へ報告して欲しい」などの意見をいただいた。その意見を考慮して評価方法(案)を作成した。

推進計画では、4つの基本方針を定め、9つの実施施策、45事業を展開しており、計画全体で1、実施施策毎で14の、合わせて15の目標指標を定めている。評価をしていただくにあたって、市から各事業毎の実績報告と目標指標の実績報告を提示させていただく。委員のみなさまにはその内容を見ていただいて、実施施策毎で5段階評価をお願いしたいと考えている。

#### 【会長】

前回の委員会で委員のみなさまからの意見を受けて、事務局が計画の評価方法の提案があった。さきほどの説明で、よく分からないところや、もっとこうしたいということがあれば意見を出していただきたい。

基本方針の評価では、「同じような内容が何度も出てきて評価をするのが難しい」とか「事業毎の評価だったので、膨大なシートを記入するのに負担が大きい」との声を聞いている。今日、事務局が提示してくれた評価の方法はそれも加味してくれたもの

だと感じているが、委員のみなさまはどう考えられているか。

この評価方法を定めると、この計画が実行される8年間は評価方法は変えられないので、ここはもう少し分かりやすくなどの意見は、今出しておかないと後々の委員の方も苦労するので、何でもいいので意見があればお願いしたい。

**【委員】**

基本方針の評価はとても苦労した。今日、提示された評価（案）は評価用紙もすっきりとして見やすいし、評価もしやすくなると思う。

**【委員】**

45事業も評価するとなるとその事業について把握できないので、難しいのではないかと考えている。ただ、実施施策毎での評価になると、大きな成果があがった事業があった場合に、他の事業の実施状況を加味しての評価になるので、平均して3をつけざるを得なくなるので、頑張ったのが見えにくくなるのではないかと考える。それについては、意見として反映していけばいいのかと考えると、9つの評価は楽になるし、以前の何度も同じような評価をしないといけないということにはなっていないのでいいと思う。

**【委員】**

このシートとこのシートは何が違うのか分からないと基本方針の評価をしていて感じていた。これなら分かりやすくなるのではないかと考える。

**【委員】**

今年初めて評価をさせていただいたが、評価方法がなかなか理解できなかった。多くのシートに点をつけさせていただいたが、これでいいのか不安になった。

**【会長】**

楽になることを望む訳ではないが、今までの評価は本当に必要かというのを疑問に感じながら行っていたところがある。今回の評価（案）として提示されたものは、効率よく、きちんと評価できるものであると感じる。

では、この評価（案）については、委員会で承認されたとしてよろしいか。

**【委員】**

承認した。

**(2) 「協働の手引き」について**

**【事務局】**

前回の委員会で、市民の方、特に若い方に見ていただけるような手引きにするにはどうしたらよいかということで委員のみなさまから様々なご意見をいただき、その意見を考慮した結果、事務局では、手引き書のような堅いものではなく、もっと気軽に手に取っていただけるようなものを作りたいと考え、今回、協働のガイドブックを提案させていただいた。

#### 【会長】

事前資料として、委員のみなさまのお手元に1週間くらい前に届いているので内容を少しご覧いただいていると思う。内容が決まったら印刷業者へ発注して、デザインなどを考えていくと聞いているので、写真はより鮮明になってくると思うが、ここで決められたら、かなり長い間、協働の啓発にこの冊子を使っていくので、印刷される前に、よりよくなるように委員のみなさまからご意見をいただきたい。

若者に見てもらいたいと事務局が考えて、フリーペーパーのようなものを目指したのかなと個人的には思っているが、見ていただいてどう感じたか。

#### 【委員】

前に手引きを酷評させていただいたが、随分よくなっていると思っている。若い人がボランティアなどに従事している写真が使われているが、これについては、個々に許可を得ているのか。

#### 【事務局】

これは若者ボランティア体験講座で受講してくれた子の活動の様子で、講座の冒頭で若い方のボランティア活動を広報するのに、活動中の写真を使わせていただくことはお話している。それをもって了解としている。ご心配であれば、個別に了解を得ていくことをしなければいけないと思うがいかがか。

#### 【委員】

よっぽど大丈夫だと思うが、事前にこのような冊子ができるというのをいただければ、写真が掲載されている子に周知していきたいと思う。

#### 【委員】

以前のものと随分変わって見やすいなと思う。1つ気になったのは表紙のデザインで、写真が大きく配置してあり、表題が真ん中にあるのがなんとなく違和感がある。

#### 【事務局】

このデザインは広報紙を作る課に協力してもらって作ったもので、広報紙の中で使われるデザインをそのまま持ってきた。委員からの意見で変えていくことは可能であるので、どのように変えていくのがよいかご意見をお願いしたい。

**【委員】**

まず、表紙の写真が多すぎると思った。また、冊子として作るなら、表紙でどんな内容なのか分かるものでないといけないと思うが、この表題から協働をイメージするのは難しいと思った。表紙は前の手引書のように、きちんと表紙として作った方がいいのではないかと思う。

**【事務局】**

どのような表題ならいいか、具体的に出していただけるとありがたい。また、今の手引きのように表紙を作るとしたら、今、表紙の下に入れてある文字を入れる場所がなくなるので、A3で2枚の構成では収まらなくなり、ページ構成を考え直す必要がある。

**【委員】**

写真はこんなにたくさんいらないと思うので、少し写真を削って、空いた部分にこの文書を入れていくのはどうか。

**【会長】**

今の委員の意見としては、「ともに歩むまちづくり」の表題が何の冊子なのかわからないため、内容がわかるように表紙をきちんと作った方がいいというもの。これについて、他の委員はどのように考えられるか。

**【委員】**

豊川市が作っているという「豊川」を表紙のどこかに入れた方がいい。

**【事務局】**

豊川を入れると行政が全面に出てしまい、難しいものだと思われて手に取ってもらえないと考え、意図的に入れなかった。裏表紙には発行元として豊川市を掲載している。

協働の手引きのように、「豊川市協働ガイド」と入れた方がいいのなら、そのように変えることは可能。

**【会長】**

事務局が言っているように、若い委員から、豊川と入れる意見があったのは私もビックリした。事務局は若い人に敬遠されると考えて、今までの手引きと違うものにしてきたので、今の意見に対して、他の委員はどのように考えるか聞いてみたい。

**【委員】**

「ともに歩むまちづくり」という表題は、サブタイトルのように思う。この冊子に何が書いてあるのかは、表紙の下段の説明を読まないと分からない。協働の手引きと入れて欲しいとまでは言わないが、何についての冊子なのかパッと見てわかるようにした方がいいと思う。

**【会長】**

事務局は気軽に手に取って欲しいというところに重きを置いて作成したと推測するが、今の委員が言われた事も一理あるかなと思う。パッと見て協働について書かれているのかは分からないが、委員が言われている表紙をきちんと作ってという事になると、表紙の下にある文書を次ページ以降に載せていかないと、この冊子を何で作ったのか分からなくなる。

**【事務局】**

表紙については、委員のご意見をいただいたものを参考にして、デザイナーと何パターンか作ってみてまた意見をお願いしたいと思う。

**【委員】**

表紙の文字が多いのが気になる。この説明はなくてもいいかなと思う。

**【事務局】**

なぜ協働のまちづくりが必要かという理由付けがないと、この冊子の内容が唐突感が出る。この説明は表紙にいらないという事なら、中に入れていくことも可能である。ただ、1ページだけ増やすのはできないので、A3を1枚、4ページ増となる。

**【委員】**

この冊子はどこで配布していく予定か。

**【事務局】**

公共施設のパンフレットスタンドに設置したり、協働の主体となる町内会や市民活動団体の関係者が集まるような場で配布したりすることを考えている。また、企業に出向いて協働を啓発する場をつくっていき、そこで使っていきたいと考えている。

**【委員】**

デザイナーを入れることで変わってくると思うが、表紙は写真、タイトル、文章の配置が層のようにきちりしているので、タイトルの周りを写真で囲うとか少し遊ばせた方がいいかなと思う。

**【会長】**

表紙の文章はもう少し短くできないか。

**【事務局】**

これは、協働の手引きから引用してきたもの。過去の委員会で多くの協議を経て作られたものであるので、できるだけ生かした形で使っているが、この内容を削るとなるとどの部分を削っていけばよいかご意見をいただきたい。

**【会長】**

過去の委員会の意見を反映したという事だが、時代は変化しているので、同じものを載せていく必要はないと思う。ただ、これを見て思ったのが、今回の冊子は若者に向けて発信していきたいという事務局の思いがよく分かる。時代を担う人への継承が必要だという思いが伝わってくる。他の市などで作られているこのような冊子にこれだけ若者が出てくるのは見たことがないので、とても工夫したと思っている。若者が手にとってくれるように、表紙の文章は「誰でもできるよ」「みんなでやろうよ」くらいのものが伝わるものを短い文章でまとめるのはどうか。

**【委員】**

さきほど他の委員が言われたように、表紙にこれだけたくさんの文字があると抵抗があるかもしれない。

**【委員】**

笑顔の写真を掲載して欲しい。「楽しい」が全面に出るといいなと思う。

**【事務局】**

表紙の文章はない方がいいという事でいいか。

**【委員】**

タイトルがないと何が書いてあるのか分からないというのが問題だと感じている。

**【事務局】**

表紙として1ページを設ける必要があるのかが知りたい。

**【会長】**

フリーペーパーには目次のようなものがあるが、それを表紙にもってくるのはどうか。

**【事務局】**

この冊子自体が8ページなので、目次を作るだけのページ数がないので、このよう

にした。

#### 【会長】

1ページは何というものではなく、次はこんな内容があるよという紹介があれば、そこに「協働」が入ってくるので、協働について書いてあると分かるのではないか。

表紙に協働の冊子だと分かる文言が必要だという委員の意見も分かるが、手に取ってもらうように工夫したという事務局の意見も分かる。若い人はどうしたら見てくれるのか。

#### 【委員】

手に取ってもらうのなら、「ともに歩むまちづくり」は何のことだかよく分からないのでなかなか見てもらえないかを感じる。「私たちと一緒に活動しませんか」という投げかけ言葉の方がいいのではないかと思う。その方が表紙の写真が生きてくると思うがどうか。

#### 【事務局】

表題はこの委員会で決めていただけるとありがたい。協働の手引きの表題「私も参加、とよかわ、人の輪、地域の輪」もこの委員会で発案していただいたもの。この冊子で市民に協働のシステムや協働の関わり方を知っていただくのが目的で、「協働」という言葉を知っていただくのが目的ではないと考えているので、あえて「協働」という堅苦しい言葉を使わずに表現した。さきほど委員がいわれた「一緒にやろう」のような言葉で伝えていければいいのかなと思う。何が書いてあるのか表紙から分からないというご意見があったので、協働の手引きのように表紙の上に「豊川市協働ガイド」のような文言を載せていく方法もあると考えている。

とても不安に感じているのは、今回の委員会を受けて次回に事務局が作ったものに対して、また承認を受けられないという事になりかねないので、せめてタイトルだけはここで決めていただきたい。

#### 【会長】

タイトルはいろいろ考えられるので、事務局が言う事も分かる。手引きを作った時もタイトルはかなりもめて、最後は多数決になったのを覚えている。この委員会の中で、タイトルはある程度決めていきたいと思うが、これというフレーズがあれば出していただきたい。

#### 【委員】

「楽しいまちにしませんか」はどうか。さきほどの委員が言われたように投げかけだと目を引くかなと思う。

**【委員】**

私自身がすでに地域の事に関心があるため、どんなタイトルでも手に取る。タイトルで見ると見ないというところのイメージがわからない。町内で新しい事をやる時に役員に意見を聞くと「いいことだでやろまい」という気持ちでまとまる。今回の冊子は、若い人をターゲットにしているので、若い人の意見を聞きたい。

**【会長】**

「いいことだで一緒にやろまい」も三河弁で味があっていいかもしれない。事務局を悩ませるのは申し訳ないので、今日の委員会でタイトルは決めたいと思う。

**【委員】**

「みんなでやったら楽しいじゃん」はどうか。

**【会長】**

今はラインのスタンプで三河弁バージョンのようなものが出ているので、方言を使うのもいいのではないかと思う。若者はどのようなタイトルだったら興味を持つのか若い委員に聞いてみたい。

**【委員】**

「Let's try」とか「Let's make」英語を使ったものはどうか。その後に副題として、さきほどから委員のみなさんが言われている「一緒にやろうよ」みたいなものをつける。

**【委員】**

会社説明会の時に、プロジェクターで「？」だけを映し出したものを使ったら興味を持って学生が集まってきたが、これは使えるか。

**【会長】**

若い人をターゲットにするなら、英語を使うのがいいかもしれないと思う。ただ、若い人ばかりではないので、年寄りにも分かるものを副題とするのはどうか。「協働」をローマ字で書くとか。

**【事務局】**

委員のみなさまにメールで5個ずつくらい提案をいただいて、それを各委員に提案してタイトルを決めていく方法はどうか。

**【委員】**

これはいつまでに作らないといけないのか。また、どのくらいの部数を作るか。

### 【事務局】

今後のスケジュールとしては、すぐに発注をかけて業者を決めていきたいと考えている。表題部分について開けてデザインをしてもらい、次の委員会で委員に見ていただき、承認をいただきたいと考えている。ただ、その時には大きな変更はできないので、ある程度意見をまとめたもので作って提示したいと考えている。

部数については、今の手引きの増刷で予算取りがしてあるので、6千部が計上してあるが、ページ数が20ページから8ページになるので、かなりの部数ができると思う。今までは部数が少なかったもので、講座で使うとか、公共施設に置くくらいしかできなかったが、ページ数を減らすことで多くの部数ができるので、市内の企業に置いてもらうとか、多くの市民が目にする機会を作ることが可能になり、広く啓発できると思っている。

### 【会長】

今日の委員会で何の収穫もなく終わるのはいけないので、表紙以外のところについてみなさんの承認を得たと考えていいか。裏表紙のQRコードを載せてくれた部分も前回の委員会を反映したものだと思うが、この冊子自体を見られるページを作って、そのQRコードも載せて欲しい。

表紙以外は委員の承認を得たと考えて、事務局から提案があったようにキャッチフレーズを5つくらいずつメールで事務局へ提案していただくことは可能か。写真がどうなるかというのも表題作りには必要だと考える。

### 【事務局】

タイトルが決まればそれに応じた表紙のデザインは決まってくると考えている。写真の枚数はどのくらいが適当かデザインしてもらわないと分からないが、若い人が活動している写真を掲載していきたいと考えて、これだけ多くの写真を使わせてもらっている。

### 【会長】

表紙の写真は多くの若者の生き生きした活動を載せてあるので、私自身はとて面白いなと思っていた。

### 【委員】

何パターンかの表紙のアイデアをいただいて、それをもってイメージしていくのは可能か。

### 【委員】

事務局が言うように写真はタイトルに引っ張られるので、どんな写真かは関係ないと思う。さきほど他の委員が言われたように、目にとまるキャッチフレーズ、心引か

れる言葉が必要だと思う。「ともに歩くまちづくり」はシニア層には受け入れられると思うのが、せつかく若い世代を意識した構成にしているのであれば、若い人の目を引くタイトルとするのがいいと思う。

**【事務局】**

そうすると、さきほど言われた「Let's try」に副題、「私たちと一緒に活動しませんか」「みんなで楽しいまちにしませんか」「みんなでやったら楽しいじゃん」のご意見をいただいていたが、そんな感じでいいか。

**【委員】**

この冊子がなんだかわかるように、「協働ガイド」のような文字を入れて欲しい。

**【事務局】**

若い委員からご意見をいただいて、事務局で精査して、表紙を各委員にご提案させていただくという方法でいいか。

**【委員】**

今日の委員会で出た意見を集約したものを事務局で何パターンか出してもらってそれを審議するのはどうか。

**【事務局】**

本日の審議でご意見をいただいたものを加味して、事務局案を再度提示させていただく。委員の言われた事は、「何が書いてあるのかわかるようにする」「思わず手に取る表題とする」「主に若い人をターゲットとするが、横文字ばかりで年配の人が分からなくなるタイトルとする」「協働の啓発ガイドとわかるようにする」の4点を考慮することでよろしいか。事務局で作り変えたものを、メールで委員の皆様へ送るので、ご意見をお願いしたい。

**【会長】**

では、それでお願いしたいと思う。表紙については、宿題とさせていただく。続いて、「ふり返しシート」について事務局から説明をお願いする。

**【事務局】**

このシートは委員会で作成していただいて、協働事業の採択団体が事業終了後に提出していただくもの。この様式の中で、「第三者による評価を得ましたか」と評価があるが、団体から第三者を誰としていいのかと聞かれることがよくある。この欄について削除をしたいと考えている。

## 【会長】

私はボランティアセンターをやっていることから、この第三者をお願いされることがよくある。団体が行う全ての事業を見に行ける訳ではないので、見てもいない事業を評価するのはとても難しい。また、団体から第三者を誰にお願いするべきか相談されることもある。今回作る冊子に「振り返りシート」を載せているので、ここで削除しないとまたずっとこの様式を使っていくことになる。私自身が数年前からこの項目は必要ないかなと感じていたので、事務局の提案に賛成だが、いかがか。

## 【委員】

異議なし。

## (3) その他

### 【事務局】

市民協働推進事業補助金の企画書の提出があった。この補助金は町内会や市民活動団体が他の団体などと協働してやる事業について補助するもので、毎年、市民協働推進委員が採点をして採択を決めているもの。今年度を実施される採択事業に補助した結果、予算残があるため、随時募集をかけていた。随時募集の企画提案については、委員会で事務局一任という形を取ることに承認を受けているので、この企画を採択することを報告させていただく。

## 【会長】

随時募集をかけていたところ、共生ネットみらいから企画書の提出があり、この事業に補助することの報告があった。前の委員会で、随時募集については、事務局一任とすることとしたため、事務局で内容を精査して採択にしたものと思う。協働事業として「男女共同参画社会」についての提案はなかったので、新しい感じがすると思う。補助金の予算があり、この企画が豊川市に有効な事業であると事務局が判断して採択したと思う。質問があれば、事務局で回答いただければと思うので、疑問に思うところは聞いて欲しい。

## 【委員】

自分はこの補助金のプレゼンテーションを経験したため、思い入れが大きい。予算が余っているので、使ってしまおうというところが大きいのか、この事業が市にとって有効だと考えての採択なのか、その辺りが少し気になる。企画の内容については、問題ないと思うが、プレゼンテーションをしてももらえなかった団体もあるのに、余っているから補助するというスタンスは少し疑問がある。申請団体が新しくできた団体がチャレンジした企画なら、この時期の企画の提出にも疑問はないが、共生ネットみらいは古くから活動している団体で、補助を受けたいなら3月のプレゼンテーションにも間に合ったのではないか。

企画書の内容はいい事をすると思うが、由緒ある団体がこの時期の企画の提出をしてきたことに、なんでだろうと思った。

#### 【事務局】

事務局としては、この事業の成果は大きいものとして採択することを決めた。来年度というお話もあったが、協働はタイミングもあるので、たまたまこの時期の申請になってしまったという話だと捉えている。公平性の観点からすると、不公平かもしれないが、今回は予算が残っていてそのチャンスがこの団体にあったと考えていただきたい。この事業内容が効果のない事業であったら、採択はしないが、委員も言われていたように、十分効果が認められる事業であると判断して、結論を出させていただいた。

公開プレゼンテーションを現在3月末に行い、次年度早々に事業を開始できるように設定しているが、町内会は4月に役員が変わるため、プレゼンテーションする会長と事業を実施していく会長が違うということで、なかなか手が挙げづらいとの意見も聞かれる。また、学校と協働する話をするのに、校長先生が変わると学校の方針がガラリと変わってしまう事例もある。この補助金における採択には、いろいろ課題があると思っているので、また委員会に諮って改善していきたいと思っている。

#### 【会長】

委員が言われるのも一理あると思う。今回は事務局一任という形で前回の委員で話をしたので、事務局が審査をして報告をしたものだが、次回から予算が余った時は、委員会で団体にヒアリングするような場を設けて採択を決定することにするのはどうか。

#### 【事務局】

その場合は、そのためだけに委員のみなさんにお集まりいただく事は可能ということか。今回の企画の提出がこの委員会の開催時期に合ったので、このような報告ができたが、タイミングが合わない場合には委員のみなさんにそのためだけに集まってもらう事になる。

#### 【委員】

今年度に限って予算が残っているだけの話で、今後ずっとこのような状況が続くのではないことと理解している。

#### 【会長】

次回もこのようなことがあったら、その時にどうするか決めることでいいか。今回は事務局一任としているので、この企画を通した事務局の報告を受けるものとしてよろしいか。

**【委員】**

承知した。

**【会長】**

他に事務局から何かあるか。

**【事務局】**

次回の委員会は12月13日（木）18時からこの場所で行う。

さきほど審議いただいた冊子については、案ができればメールなどで送るので、また、忌憚ないご意見をいただきたいと思う。